天理大学ライブラリー部ロンド芸亭
2019年度　活動報告

二〇一九年度　活動年表

一月九日(土)　ク　桜井市立図書館ボランティア
三月十七日(日)　ク　桜井市立図書館ボランティア
四月二日(火)　天　クラブ・オリエンテーション(新入生勧誘)
五月十八日(土)　天　学生選書
五月十九日(日)　ク　桜井市立図書館ボランティア
六月十六日(日)　ク　TSUTAYA・handmadeマルシェ主催ビブリオバトル
七月十四日(日)　ク　桜井市立図書館ボランティア
八月十日(土)　天　オープンキャンパス手伝い
九月八日(日)　天　オープンキャンパス手伝い
九月十日(火)　ク　大阪府立図書館見学
九月十五日(日)　ク　桜井市立図書館ボランティア
十一月八日(金)　天　天理大学祭
十一月九日(土)　天　天理大学祭
十一月十日(日)　天　天理大学祭
十一月十一日(火)　ク　図書館総会(仮)
十一月十三日(水)　ク　図書館総会(仮)
十一月十四日(木)　ク　図書館総会(仮)
十一月十七日(日)　ク　桜井市立図書館ボランティア

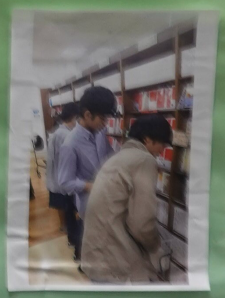
天理大学ライブラリー部ロンド芸亭

「天理大学ライブラリー同好会」は、天理大学図書館司書課程が長年課外で実施してきた「司書採用試験勉強会」や「知的財産管理技能士試験対策勉強会」などの受講者を中心に、2014年に結成された同好会です。
勉強会以外にも、天理大学構内にある天理大学情報ライブラリーの「学生展示コーナー」や「学生選書」の参加も行っており、多くの方々に図書館への知識・関心を向上させる目的で活動しています。
「天理大学ライブラリー同好会」は、今年、2019年６月に"部"として昇格し、「天理大学ライブラリー部」と改めました。
そんな、「天理大学ライブラリー部」の今年の活動は、昨年から２か月に１度、行っている「桜井市立図書館ボランティア」だけでなく、年に２度の「学生選書」、「TSUTAYA・handmademarket主催ビブリオバトル」、「大阪府立図書館の見学」、「天理大学のオープンキャンパス手伝い」といったような活動を行いました。
今後も、様々な活動を通して、図書館への関心・知識を向上させていきたいと思います。

芸亭君

芸亭君は2014年に「天理大学ライブラリー同好会」のマスコットキャラクターとして作られたキャラクターです。芸亭君は、天理大学情報ライブラリーに住んでいるクジラの姿をした本の妖精で、歯は０類から９類を色で表しているため、カラフルになっている。また、テンションが上がると潮とともにその時の気分に合わせた本を吹き出すという習性を持っていたり、人語を話し、情報ライブラリーで困っている利用者に力を貸してくれたりして、自由気ままに生きており、本で得た知識を食べています。
そんな芸亭君は、学生選書コーナーのオススメ本紹介の看板、イベントポスター、広報用の缶バッジ、更には「天理大学情報ライブラリー」の館紹介ビデオにて案内役キャラクターとして出演するなど「ライブラリー同好会」だけではなく「情報ライブラリー」の顔として活躍しています。

桜井市立図書館ボランティア



ライブラリー部は去年の６月から、インストラクターの「三郷サイコロクラブ」の稲垣さんの紹介で、桜井市立図書館で開催されたイベントの運営ボランティアに参加しています。
このイベントは、「ボードゲームで遊ぼう」というテーマをもとに、多くの方々が参加し、月に２回、イベントを開催する度、大盛況です。
我々は、過去７回運営しましたが、過去には、１５０人を超える参加者が来館したこともあります。これは、TRC管轄図書館内で行われているボードゲームイベントの中で日本一だそうです。
我々は、イベントやボードゲームを通して、親子のふれあいの場所や、交友関係を深める場所になり、有意義な時間を生み出すことを目的とし、また、図書館へ足を向けてもらうことで、少しでも図書館への関心が湧くことを願い、今後もこの活動を続けていきたいと思います。

学生選書

学生選書は、応募した学生が、ジュンク堂書店難波店に訪れて、自ら選んだ本を天理大学内に所在する情報ライブラリーの蔵書に加えることを目的として、開催された企画です。この企画は、年に２回、情報ライブラリーが企画しており、我々、ライブラリー部は、毎回参加しています。
現在、ライブラリー部には国文学国語学科や歴史文化学科、外国語学科、人間関係学科に所属している生徒がいるので、それぞれの所属に関連した多種多様な本を選びました。さらに、学部・学科に関係なく各々が好きなテーマの本や小説、資格関連の本も加えました。
結果、著名な作品や様々なジャンルの図鑑など、幅広い本を情報ライブラリーの蔵書に加えられました。

TSUTAYA・handmarket主催ビブリオバトル

我々、ライブラリー部は、TSUTAYA天理店さんとhandmarketさんと合同で、天理駅前コフフンでビブリオバトルのイベントを開催しました。
そもそも、ビブリオバトルとは、ゲーム感覚で書評を行うことによって、参加者の知的興味を広げ、深めることを目指す集団的読書活動。ルールはいたって単純で、バトラーと呼ぶ発表参加者が図書を持ち寄り、１人につき３分の紹介（書評）と２～３分の質疑を行う。その後、参加者が一番読んでみたいと思った本を投票で決め、チャンプ本を選ぶ、というものである。大学生の図書離れ、活字離れといわれる実態がまるでうそであるかのように各地で普及し、全国大会も行われている。さまざまな年齢層への浸透もみられる。（『現代用語の基礎知識２０１９』より引用）というようなイベントで、我々も、部に入ってきた新入生に毎年、「好きな本」をテーマで行っています。
今回、合同という形で参加させていただきましたが、まだまだ学ぶべき点がありましたが、学ぶ点も多くあり、このイベントを通して、普段送っている学生生活では学べないようなことを学べ、参加できたことを嬉しく思いました。

大阪府立中央図書館見学

我々、ライブラリー部は、大阪府立図書館へ見学に訪れました。
そこでは、多くの本があり、来館者へ対する工夫やサービス、また、本を楽しめるようにする方法といった多くのことを学んだ貴重な１日でした。
部員の中には、図書館司書の資格の取得を目指している者もいるので、授業や教科書では味わえない、図書館についても学べる機会で参加者全員、夢中になって見学していました。